



ご挨拶  
Greetings



社会福祉法人 絢会

2021年4月の介護報酬改定により、2023年度までに災害と感染症のBCP策定が義務化されました。BCPとは、災害が発生してもご利用者に必要なサービスを継続的に提供できるよう、平時から準備・検討しておくべきことや、発生時の対応等をまとめた計画のことです。

当施設でも昨年度よりアドバイザーの園崎秀治氏（Office SONOZAKI）からの助言のもとBCPを策定しました。プロジェクトチームを立ち上げ、現場の声をもとに被災リスクと対応をチームで考え、ひな型をすべて穴埋めして作るのではなく、今「できていること」「できていないこと」を載せていくことを心掛けました。BCPは毎年検討・検証のもとバージョンアップしていくことが必須です。そのためには、地域の力、【地域連携】がとても重要だと、策定を通して強く感じる結果となりました。

そして、9月22日。私たちがBCPを策定して感じたことをお伝えし【地域連携の防災】に取り組んで行くために、アドバイザーの園崎氏と、全国の災害支援と地域の防災に取り組まれている高雲寺住職米沢智秀氏を講師に迎え、BCP地域連携セミナーを開催しました。セミナーには、町内外の介護施設や障害児者施設、行政、社会福祉協議会、玉樹で活動されているボランティアの方々など多種多機関の方にご参加いただきました。「セミナー後も繋がって情報共有をしたい」と私たちの声に多くの方が賛同してくださっています。いざ災害が発生した時に、地域連携のもと、ご利用者の安全確保ができるように、この繋がりを継続していきたいと思っております。



感染対策のため、敬老会は部署ごと、式典は入居の祝い歳の方限定で集まっていたり開催しました。



本日の主役はごはんです! 新米をとにかく美味しく食べようと企画。ご飯のお供は、焼き鮭、明太子、しらす、梅干し、玉子焼き、漬物、お刺身など部署毎に職員が厳選! 季節を感じる演出や彩り豊かな盛り付けも◎

つむぎ  
プロジェクト  
玉樹 × 地域福祉

## 夏休み福祉チャレンジ教室開催！



玉樹では、様々な地域福祉事業を行っています。その中の、買い物支援「ウキウキショッピングバス」と「社会貢献クラブ」の二つの活動に、町内小中学生や周辺地域の高校生が参加してくれました。子どもたちは、座学で真剣に話を聴き、実践の場では、お年寄りや職員と楽しく活動していました。

歳を重ねてくると、出来ないことや諦めなくてはならないことが増えてくるかもしれません。

でも、地域の中でできる人が支えてくれたら、【できないことが、できること】に変わります。これからの地域にはそうした活動の場をたくさん増やしていくが必要になってきます。今回、子どもたちがこうして関わってくれたことが、地域の明るい未来に繋がっていると心強く感じました。

文：染野ユミ



ケアの広場

## 自信に繋がる住環境 ～在宅編～

住み慣れた自宅でも年を重ねるごとに足腰が弱くなり、病気による障害で今までのようにスムーズに動くことが難しくなる場合もあります。生活の場となる住環境が整うことは「自分で出来る事が増える」+「家族の負担が少なくなる」＝【自立支援に繋がり自信が持てる】といった生活の質の向上へ繋がっていきます。そのため身体の状態に合わせた住環境の整備を整えることはとても大切です。



- 1.家具の配置を変える
- 2.福祉用具の活用  
(レンタル手すり・車椅子、入浴補助用具等の購入)
- 3.住宅改修(手すりの取り付け、段差解消等)
- 4.福祉用具の活用と住宅改修の併用

身近にあるものや福祉用具のレンタル・購入・住宅改修など、サービスを上手に活用し、転倒のリスクを軽減すると共に、身の回りの事を自分で続けながら、自立した生活が送れるようにできる事は、明日の笑顔へ繋がっていきます。住環境を整えご利用者の笑顔が増える生活のサポートを、これからも続けていきたいと思ひます。

文：谷貝 智代



# 繋がる



入居されると、今まで過ごしたところから離れてしまうイメージがあります。でも、入居されても今まで通り、家族や馴染みの方、馴染みの場所と繋がって、大切にしてきた事を続けていける場所でありたいです。

そして、玉樹の職員はその方と新たに繋がり、馴染みの人や親戚みたいな人になれたらいいなと思います。ご家族にとっても、大切な家族を支えるチームの仲間だと思っただけだと嬉しいです。



妻と会う

ご夫婦の時間  
見ている私たちも  
幸せをいっぱい  
もらいました

お出かけ

おらげの彼女

坂東太郎へ  
いただきます！

お彼岸にお参り

馴染みの方と会う

会いたかったよ！  
毎日遊びに来てるよ！

出前

生姜焼きが  
食べたい！

馴染みの  
喫茶店で  
ランチ

ご自宅へ

久しぶりの我が家  
妻の遺影を手に...

新たな関係

仲良し  
入居後にお友達に！



## 最期の時間

ショートステイ玉樹では、終末期を迎えたご利用者の受け入れもしています。最後の時間を過ごす本人、ご家族の意向、不安、葛藤など想いを伺い、なるべく悔いがないように、その方らしく過ごしていただけるように都度相談しながら対応しています。

終末期になると身体の痛みが強く、自由に身体を動かせなくなったり、孤独感に襲われたりすることがあります。私たちは日常生活のケアを通して精神的・身体的苦痛が少しでも和ぐよう、なるべくたくさんお部屋へ伺い、身体を擦り、孤独を感じないよう手を握りながらお話しをさせていただいています。また、ご家族の不安や心配ごとが少しでも軽減されるよう、日々の体調の変化や様子をお伝えしています。



食事に関しては、時間に関係なく『食べたい』と仰って下さった時に1口でも2口でも召し上がっていただけるよう対応しています。また「〇〇が食べたい」とお話しして下さった際は、ご家族に持参していただいたり、ショートステイで用意し召し上がっていただいています。いつもは食事が進まない方でも、ご自身で『食べたい!』と思い、『食べたいと思ったその時に』食べられると「美味しい!」と素敵な笑顔を見せて下さいます。

入浴に関しては湯船に入り温まることが好きな方が多いです。体を拭かせていただくこともありますが、看護師と相談し、体調に合わせ湯船で温まっていただく時間を作っています。すると、気持ちよさそうに穏やかな表情や笑顔を見せてくださいます。

また、コロナ禍では、病院での面会はなかなか難しいのが現状です。玉樹では、感染対策をした上で、終末期の方には24時間いつでも面会ができるよう、ご家族の宿泊にも対応しています。実際にショートステイ利用中にご家族に見守られながら最期を迎えられたご家族は「コロナ禍で病院だったら面会すら難しかった、一緒に過ごす時間がもて本当に良かったです」と仰ってくださいました。

在宅介護でご家族の不安が多い医療面に関しても、主治医、訪問看護、玉樹の看護師、ケアマネジャーなど、密に連絡を取り体制を整えることで、ご家族の不安をサポートしています。



最期まで普通に暮らす幸せ。大切な人と過ごす時間。

ショートステイは病院ではなく【生活の場】だからこそ柔軟に対応出来ることがあります。

在宅介護でもショートステイを利用することで、ご家族の不安や負担を軽減し、家族と一緒に過ごす時間を大切にしながら、その方らしく最期を迎えていただけるよう取り組んでいきたいと思ひます。



## ヤスさんと職員の変化 ～ケアプラン研修の気づき～

デイサービスでは、現在ケアプランの見直しをしています。きっかけとなったのは、生活介護研究所、加藤慶氏のケアプラン研修です。これまで生活相談員中心に作成してきたケアプランを、『ご利用者の担当介護職員が一から全て作ってみる』という研修でした。

まずは、ご利用者を【知る】ために、加藤氏考案の書式にご利用者の情報を書き込んでいきます。項目は多岐にわたり、人生歴、家族構成、既往歴、身体状況、生活環境、性格、人間関係、仲が良かった人、趣味、好き嫌い、こだわり、1日の過ごし方、テーブルや椅子の高さ、介護の手順、本人やご家族の想い、担当職員の想いなど、1人のご利用者に対して約90項目もある書式です。

研修を受けた職員からは「担当のヤスさん(仮名)の事は、大体知っていたつもりだったけれど、書き込めない情報が思った以上に沢山あって驚いた。」という声があがり、その日から職員の意識や行動が変わっていきました。書式に書き込めなかった情報を知ろうと、積極的にヤスさんに話しかけるようになりました。また、自らヤスさんの送迎車の運転手にしてほしいとお願いし、車の中で2人きりで話せる時間を作ったり、帰宅時にご自宅の環境を確認する等していました。

すると、ヤスさんは「旅行が好きで昔は妻とよく出かけていた」「妻も介護が必要で心配、長い時間家を空けられない。買い物もなかなか行けない」「足腰も弱ってきちゃって…」と、昔の思い出や現在の悩みを気兼ねなく話して下さいました。そんなヤスさんの想いを受け取った職員は「お出掛けする機会を設けて、季節を感じて欲しい」と外出のお誘いをしました。それと同時に、足腰の不安を解消するため、「外出」を「目標」にしてリハビリ運動を一緒に続けていきました。

こうして迎えたお出掛けの日。車の中ではワクワクしすぎておしゃべりが止まらない様子。砂沼の遊歩道を散歩し、カフェで珈琲を飲みながら、満開の桜と一緒に眺めて笑い合う職員とヤスさん。奥様へのお土産も購入し「こんなところに来られると思ってなかった。ありがとう！」と満面の笑みでした。その後も「この前は誘ってくれてありがとう！」と何日も繰り返し伝えて下さる姿が見られました。

また、以前は職員からお誘いしていたリハビリ運動も、ご自分から声をかけて下さるように。そんな姿を見た職員は「今回の外出にこんなにも感動してくれ、ヤスさんの活力になれたんだ」と、とても嬉しかったそうです。



ケアプラン研修に取り組む職員の姿を見て「ヤスさんにどのような支援をしたら、在宅で元気に過ごしていけるだろう」と考える姿勢や責任感、「一緒に想いを叶えたい」という気持ちがある以上、強く伝わってきました。ご利用者を【深く知ろうとする力】が、最善のケアに繋がり、今もっている力を最大限に引き出すことができる。そして、その方らしく過ごせるきっかけになると改めて感じました。一人ひとりを深く知ることは時間がかかるかもしれませんが、担当の介護職員が中心となり、「その方らしさが伝わるようなオンリーワンのケアプラン」を「ご本人と一緒に」考えながら作っていきたいと思います。



## 非日常を楽しむ ～足湯～

コロナ禍になって約3年、これまではイベントやお出掛けなど非日常の楽しみが制限される事が続きました。そんな中、少しずつでも楽しみを取り戻そうと、足湯を開催しました。

これからだんだん寒い日が多くなり、手足が冷たい方もいらっしゃると思います。足の浮腫みがある方もいますので、入浴以外でも足湯で温まっていたきたいと思っています。皮膚の乾燥も気になる季節ですので、保湿ができる入浴剤も用意しました。

秋の空気を感じながら足湯に入り、目の前に広がる畑を眺めて野菜トークで盛り上がりたり、女性陣はミカンを頬張りながら美容トーク。男性陣は、足湯の気持ち良さに思わず飲みたい気分になったのか「(お茶じゃなくて)酒もってきてくれるか〜?」なんて冗談を言って、顔なじみの方や職員と一緒におしゃべりも弾む時間となりました。



畑が広がる景色♪

いい天気～あれは紫キャベツかな!?



本日の足湯のお供はミカン!

気持ちいい～足が軽くなったよ♪

入浴剤はポカポカ♪和漢茶の香り



酒もってきてくれるか?(笑)



柚子茶でリラックスタイム♪

足湯をきっかけにして、今後も感染対策をしながら、イベントや外出など【非日常】の体験を取り戻していきたいです。そして、ご利用者の楽しみも笑顔も増やしていきたいと思っています。



## 自宅での困りごと ～運動編～

「足が弱ってしまった」「転んでしまったら大変」と不安を感じる事はありませんか？  
転倒は骨折の原因になることもありますし、自分で運動しようと思っても、どんなことをしたら良いか難しいと思います。

### こんな方は通所系がお勧め

- 自分に合った運動を行いたい
- 外出の機会を持ちたい
- 他者との交流をしたい
- 入浴や食事の支援も受けたい



#### 通所リハビリテーション

入浴や食事といった日常生活上の支援と共に、リハビリの専門職が在籍しており、機器の充実した施設で専門家からリハビリテーションを受けることができます。

#### デイサービス

入浴や食事といった日常生活上の支援と共に、運動や日常生活の動作を行いながら、家に閉じこもりがちにならず出掛ける機会を持つことができます。機能訓練計画を立て個別の運動メニューを行う所もあります。

#### リハビリ特化型デイサービス

身体機能の改善や機能訓練に重点を置き、午前のみ・午後のみといった半日単位での利用となり、食事や入浴のサービスがありません。

※専門職とは理学療法士、言語聴覚士、作業療法士等を指します。

### こんな方は訪問系がお勧め

- 外出するのが難しい
- 自宅でリラックスしてリハビリしたい
- 退院したばかりで自宅での生活に不安がある
- 自宅で身体介助の方法を覚えてもらいたい



#### 訪問リハビリテーション

自宅にリハビリの専門職が訪問し、日常生活環境に合わせたリハビリの指導を行うサービスです。

#### 訪問看護

訪問看護で行うリハビリテーションはあくまで看護の一環となり、療養上の目標を達成するため専門職が自宅へ訪問しリハビリを行います。

どちらも福祉用具・住環境に関する  
アドバイスもしてくれます

介護度や状況・状態により利用できない場合もありますので一度ご相談ください。ご本人の気持ちを第一に考え、希望にあったサービスを提案していきたいと思えます。

文：谷貝 智代

掲載された写真は、本人様並びに家族様の了承の上で掲載しております。

発行：社会福祉法人絢会 発行責任者：吉川 秀貴

撮影・編集：絢会の仲間たち&佐藤あすか

〒300-3572 茨城県結城郡八千代町菅谷 1021-1

TEL 0296-49-3886 FAX 0296-49-2987

Mail info@tamaki.or.jp

＜絢会の事業所一覧＞

- ・特別養護老人ホーム 玉樹
- ・ショートステイ 玉樹
- ・デイサービスセンター玉樹
- ・デイサービスセンターじゅげむ
- ・居宅介護支援事業所 玉樹

